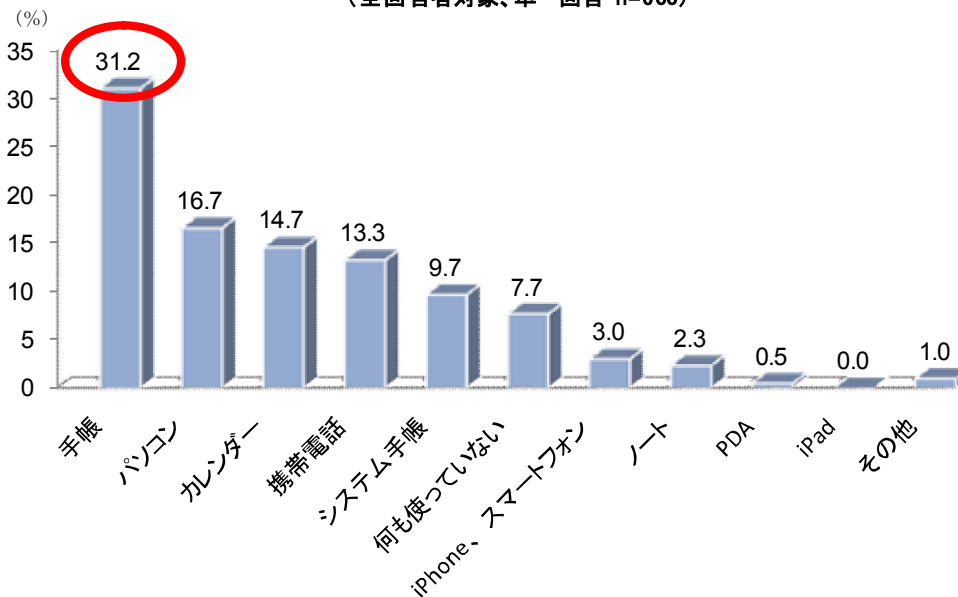


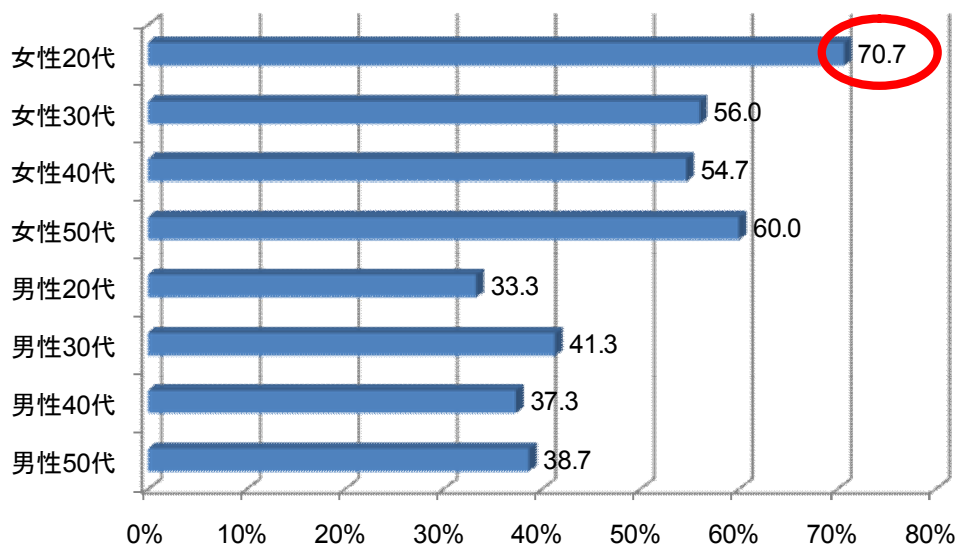
1. スケジュール管理ツールは手帳が不動のトップ、女性が市場牽引

- ① スケジュール管理のために使用されているメインツールとしては、「手帳 (31.2%)」がトップであり、2位の「パソコン (16.7%)」を2倍近く引き離す結果となった【グラフ1】。
- ② 手帳ユーザーの属性から分析すると、全体的に男性より女性の使用割合が高いことがわかった。特に20代女性は70.7%が手帳をスケジュール管理のツールとして使用しており、若い女性ユーザーが現在の手帳市場を牽引していることが伺える【グラフ2】。
- ③ 来年のスケジュール管理ツールの使用予定について尋ねたところ、手帳をメインに使用するというアナログ派 (54.1%)が、デジタルツールをメインに使用するというデジタル派 (30.8%)を上回った。様々なデジタルツールが発売される中、スケジュール管理においては、アナログの手帳が定着している様子が伺える【グラフ3】。

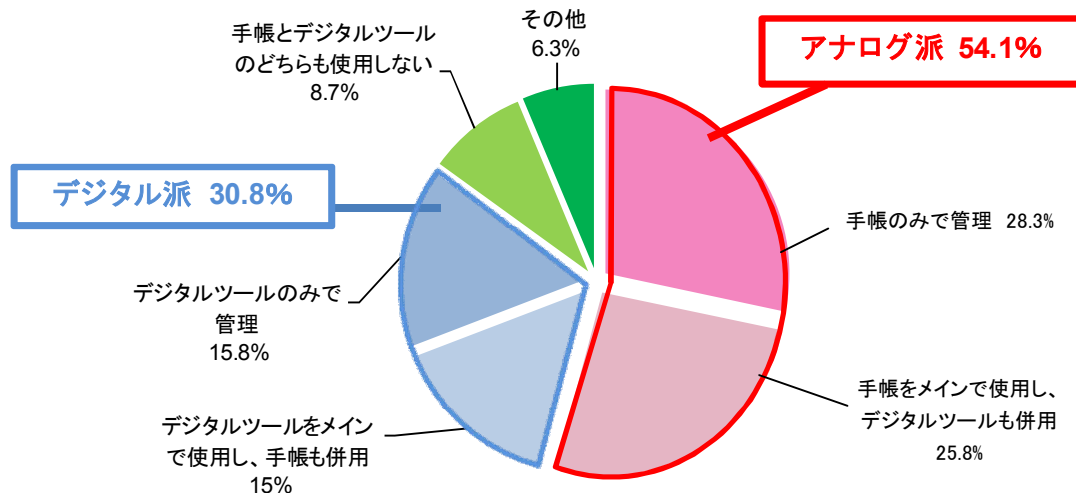
【グラフ1】スケジュール管理のためにどのようなツールを使用していますか？
(全回答者対象、単一回答 n=600)



【グラフ2】スケジュール管理のために手帳を使用している人の割合
(他ツールとの併用も含む、全回答者対象、複数回答 n=600)



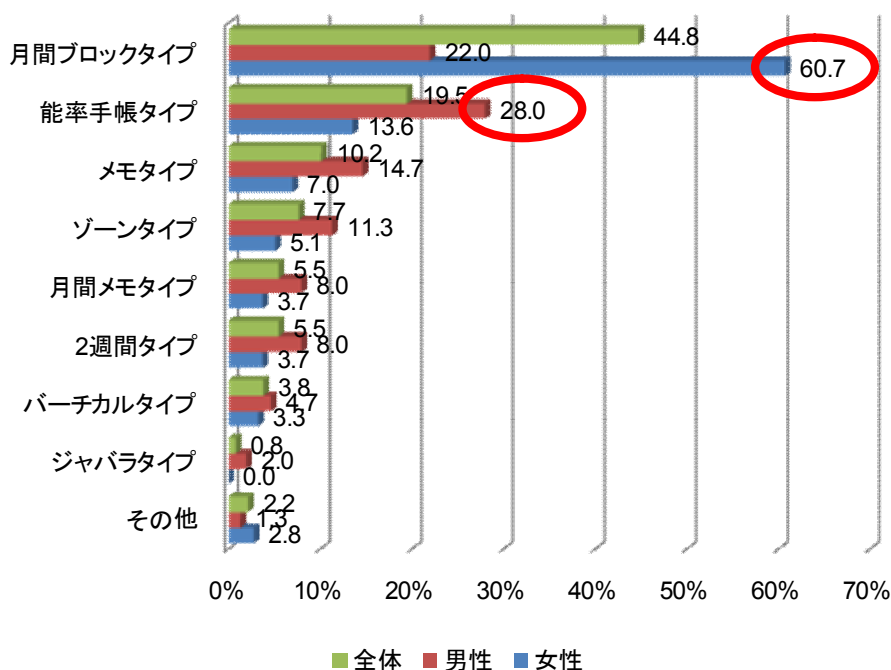
【グラフ3】 来年、スケジュール管理をどのように行う予定ですか？
（全回答者対象、単一回答 n=600）



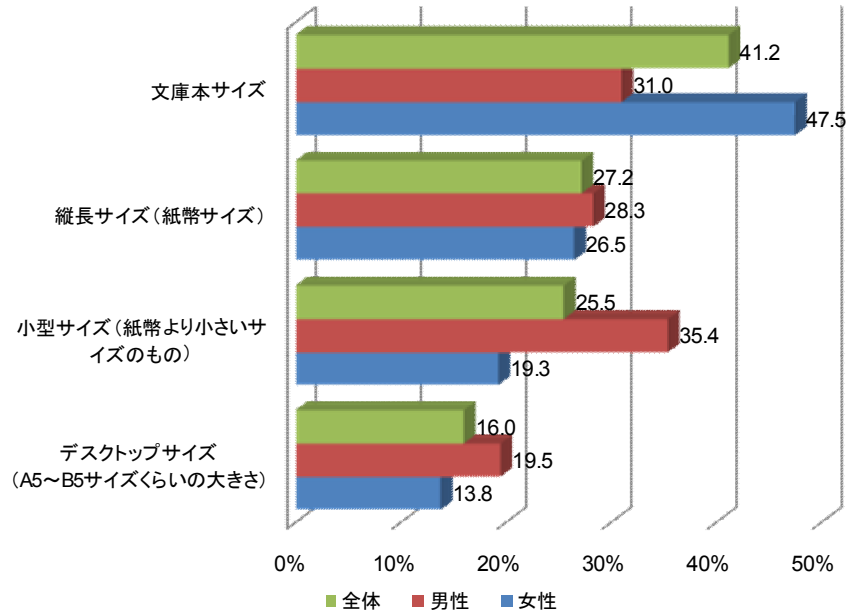
2. 手帳選びのポイントは「レイアウト」から「サイズ」「デザイン」重視に移行傾向

- ① 現在メインで使用しているレイアウトについては、全体で「月間ブロックタイプ（44.8%）」がトップであった。男女別で見ると、女性は過半数を超えるユーザーが「月間ブロックタイプ（60.7%）」を選んでいるのに対し、男性は「能率手帳タイプ」を選んだ回答者が28.0%と最も多い結果となった。【グラフ4】（参考：P.11 手帳レイアウト一覧）
- ② 現在使用している手帳のサイズについては、「文庫本サイズ（41.2%）」を使っていると回答した人が最も多かった。文庫本サイズは、ここ数年人気が高まっているサイズで、流行に敏感な女性や20代男性を中心に人気が高まっている。一方、30～50代の男性ユーザーは、「縦長サイズ（紙幣サイズ）」や「小型サイズ（紙幣よりも小さいサイズ）」など、ビジネス手帳の定番サイズが人気になっており、世代や性別による志向性の違いが明らかになった。【グラフ5、表1】。
- ③ 手帳を選ぶ際にもっとも重視するポイントについて聞いたところ、今年も「中身のレイアウト」を最重要視すると答えたユーザーが48.4%とトップに立った。しかし、過去3年間の経年変化を見ると、「中身のレイアウト」を重視すると回答したユーザーの割合は年々減少しつつあることがわかった（2008年61.7%→2009年57.9%→2010年48.4%に至る）。一方、「外見のデザイン」「サイズ」と答えるユーザーが増加傾向にあり、手帳のファッション性や外見にこだわりを持つユーザーが年々増えてきていることがわかった。【グラフ6】。

【グラフ4】 もっとも使う頻度が高い手帳のレイアウトはどれですか？
（手帳<ノート型>もしくはシステム手帳使用者対象、単一回答 n=364）



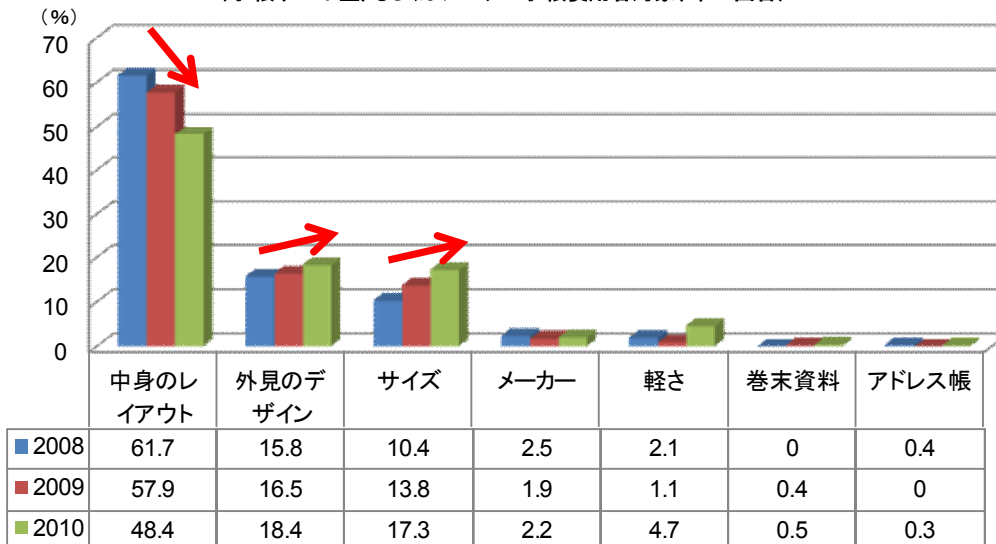
【グラフ5】どの大きさの手帳を使っていますか？
（手帳<ノート型>使用者対象、複数回答 n=294）



【表1 詳細】男女世代別の回答割合一覧 (%)

	小型サイズ (紙幣より小さい サイズのもの)	縦長サイズ (紙幣サイズ)	文庫本サイズ	デスクトップサイズ (A5~B5サイズ くらいの大きさ)	その他
女性20代	26.4	15.1	54.7	13.2	1.9
女性30代	19.0	19.0	47.6	16.7	0.0
女性40代	17.1	24.4	53.7	14.6	4.9
女性50代	13.3	48.9	33.3	11.1	0.0
男性20代	24.0	20.0	48.0	24.0	0.0
男性30代	45.2	29.0	16.1	25.8	0.0
男性40代	50.0	21.4	21.4	14.3	0.0
男性50代	20.7	41.4	41.4	13.8	0.0

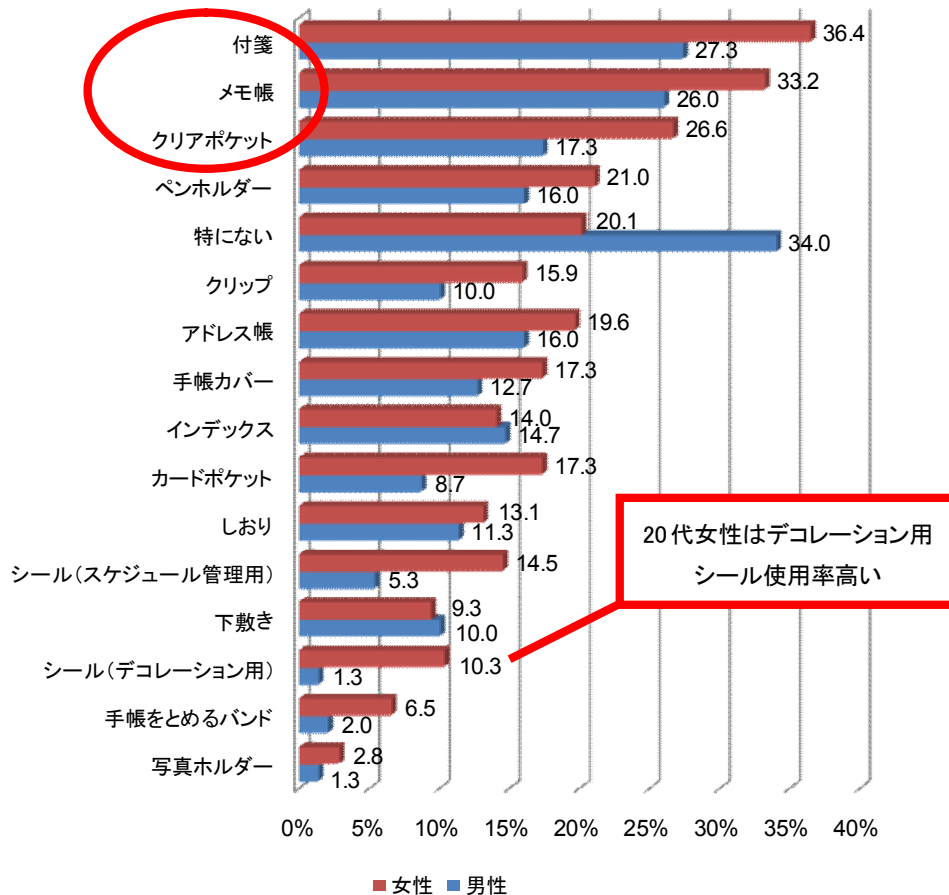
【グラフ6】手帳を選ぶ際に重視するポイントは何ですか？
（手帳<ノート型>もしくはシステム手帳使用者対象、単一回答）



3. 手帳グッズを上手に活用して楽しむ女性ユーザー

- ① 筆記用具以外の手帳グッズについてもユーザーに活用実態を聞いたところ、「付箋 (32.7%)」「メモ帳 (30.2%)」「クリアポケット (22.8%)」が人気であった。40～50 代女性を中心に広範囲にわたり手帳グッズが活用されている。女性ユーザーがこうした手帳グッズを活用することにより、さらに手帳を使いこなしている実態が明らかになった【グラフ7】。
- ② 特徴的な結果としては、20 代女性は、デコレーション用にシールを活用するユーザーの割合が特に高くなっている (19.4%)。若い女性にとっては、手帳はスケジュール管理をするためだけのツールではなく、携帯電話などと同様にデコレーションで自分らしさを表現して、楽しみながら手帳を使っている様子が伺える。

【グラフ7】 筆記用具以外で使用している手帳グッズを選んでください
(手帳<ノート型)もしくはシステム手帳使用者対象、複数回答 n=364)

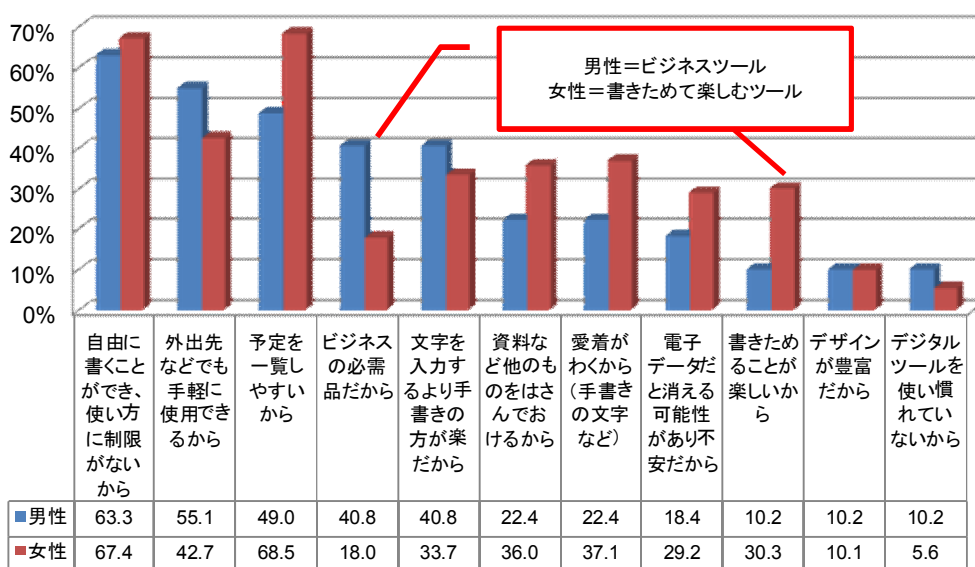


4. 男性にとって手帳は「ビジネスの必需品」、自己成長のツールとして定着

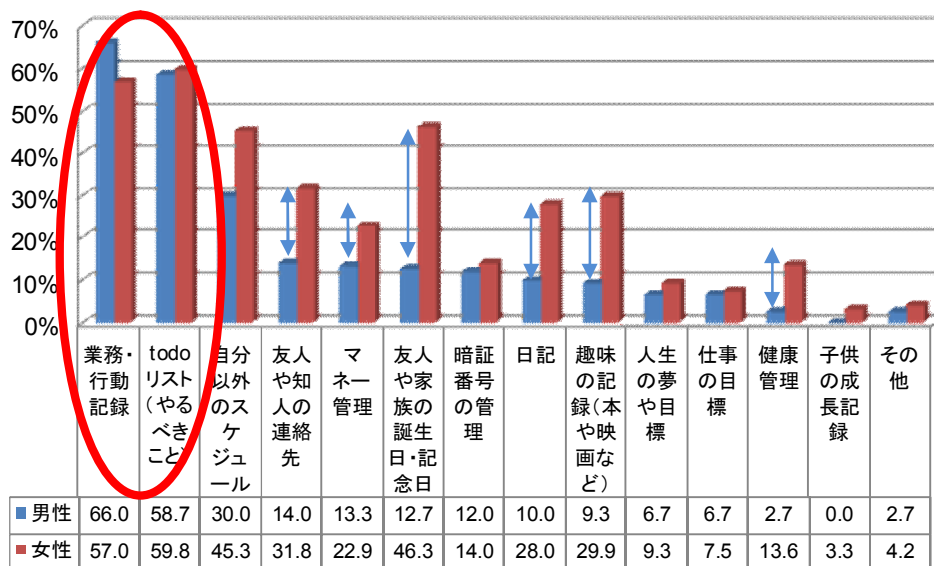
- ① デジタルツールではなく手帳をメインで使用する理由について聞いたところ、男性の回答トップ3には、「自由に書くことができ、使い方に制限がないから (63.3%)」「外出先などでも手軽に使用できるから (55.1%)」「予定を一覧しやすいから (49.0%)」が上がった。男性は「ビジネスの必需品であるから (40.8%)」という回答を選んだユーザーの割合が、女性に比べて2倍以上も高く、改めて男性にとって手帳=ビジネスツールという認識が浮き彫りになった【グラフ8】。
- ② スケジュール管理以外の手帳の用途について聞いたところ、男女ともに1位が「業務・行動記録 (66.0%)」、2位が「to doリスト(58.7%)」という結果となった。この結果から、ビジネスパーソンにとっては、手帳が記録や情報を書きためるツールとして定着していることが伺える【グラフ9】。

- ③ 「仕事において手帳をうまく使いこなせていると思うか?」という質問に対しては、過半数の男性ユーザーが、「とてもうまく使いこなせている」もしくは「まあまあうまく使いこなせている」と回答した。特に30代男性は、その割合がもっとも高く合計で66.7%に及んだ【グラフ10】。また、手帳をうまく使いこなせた効用としては、男女ともに「手帳を見返し仕事の振り返りができるようになった」がトップに立った。なかでも20代男性においては「仕事の充実度が高まった(35.3%)」「決められた時間で効率的に仕事ができるようになった(35.3%)」などの回答が多く、手帳活用が自己成長につながるという認識が、ユーザーに浸透してきている【グラフ11, 表2】。
- ④ 一方、「プライベートにおいて手帳をうまく使いこなせているか?」という質問に対しては、男性は各年代とも「とてもうまく使いこなせている」もしくは「まあまあうまく使いこなせている」と回答した割合が、女性に比べて低い(男性44%, 女性76.2%)。プライベートにおける手帳の活用度合いについては、男女間で大きな差が出る結果となった【グラフ12】。

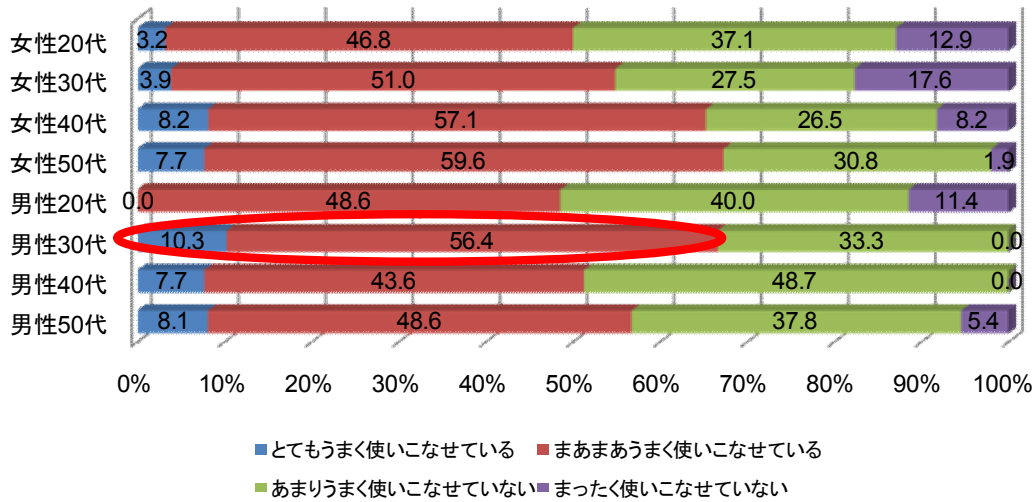
【グラフ8】 デジタルツールではなく手帳をメインで使用する理由について教えてください
(スケジュール管理のメインツールに手帳(ノート型)を使用していると答えた回答者対象、複数回答 n=138)



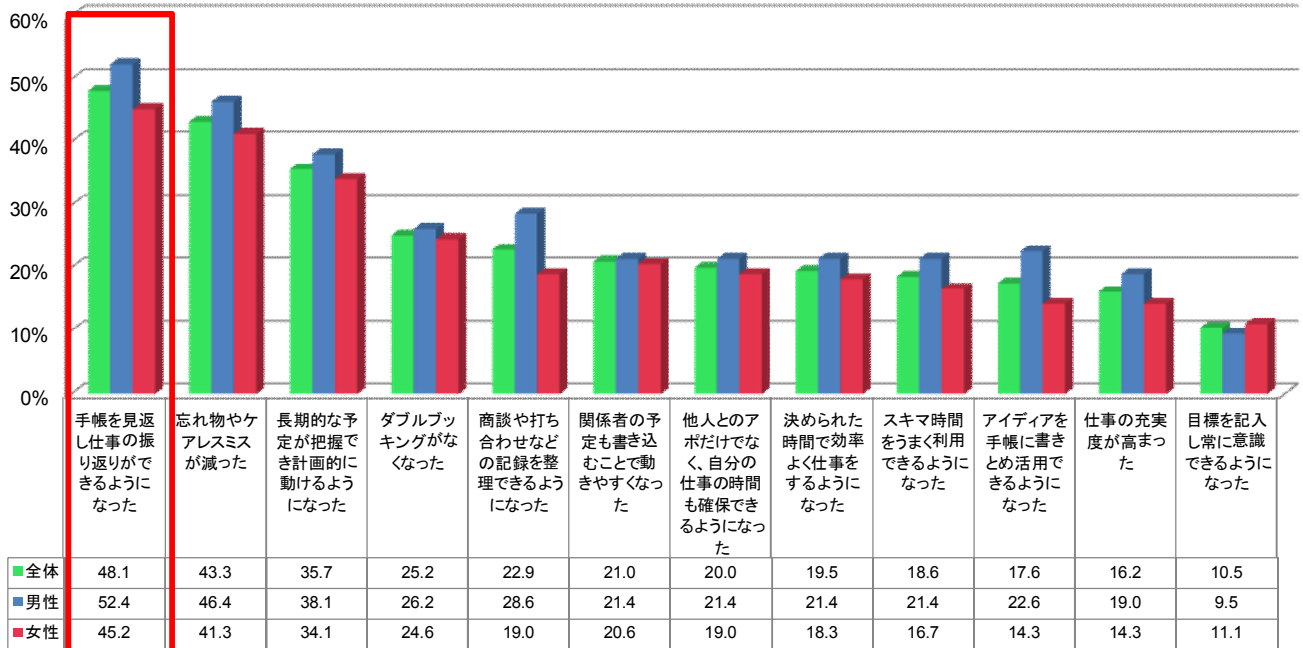
【グラフ9】 スケジュール管理以外に、手帳をどんな用途に活用していますか?
(手帳(ノート型)もしくはシステム手帳使用者対象、複数回答 n=364)



【グラフ10】仕事において手帳をうまく使いこなせていると思いますか？
(手帳ノート型)もしくはシステム手帳使用者対象、単一回答 n=364)



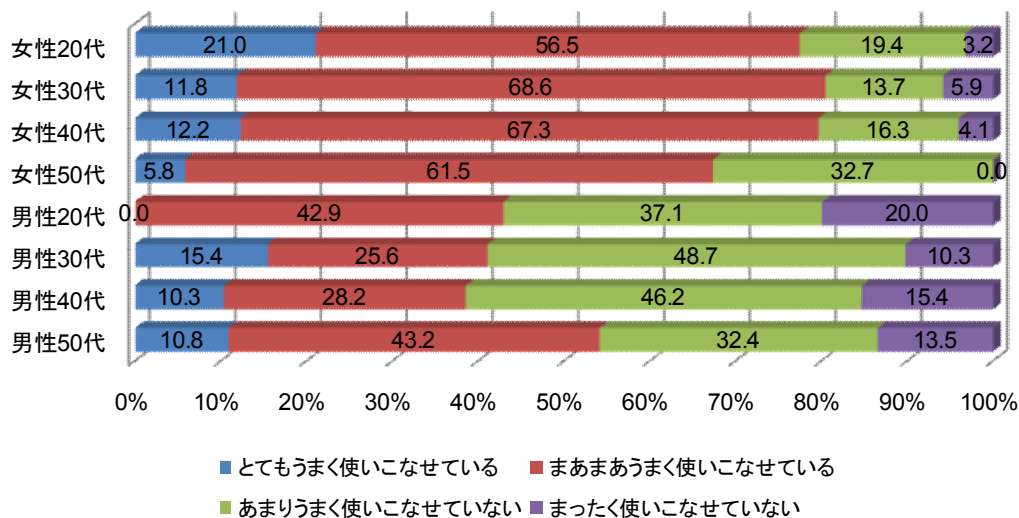
【グラフ11】手帳を活用することで、仕事においてどのような効用がありましたか？
(仕事において「手帳をうまく使いこなせている」と答えた回答者対象、複数回答 n=210)



【表2 詳細】男女世代別の回答割合一覧 (%)

	手帳を見返し仕事の振り返りができるようになった	忘れ物やケアレスミスが減った	長期的な予定が把握でき計画的に動けるようになった	ダブルブッキングがなくなった	商談や打ち合わせなどの記録を整理できるようになった	他人とのアポだけでなく、自分の仕事の時間も確保できるようになった	関係者の予定も書き込むことで動きやすくなった	決められた時間で効率よく仕事をするようになった	スキマ時間をうまく利用できるようになった	アイデアを手帳に書きとめ活用できるようになった	仕事の充実度が高まった	目標を記入し常に意識できるようになった
女性20代	45.2	38.7	32.3	12.9	9.7	25.8	22.6	19.4	25.8	16.1	25.8	9.7
女性30代	39.3	32.1	35.7	28.6	17.9	21.4	17.9	28.6	10.7	7.1	10.7	10.7
女性40代	56.3	46.9	40.6	25.0	28.1	12.5	28.1	18.8	21.9	21.9	15.6	9.4
女性50代	40.0	45.7	28.6	31.4	20.0	17.1	14.3	8.6	8.6	11.4	5.7	14.3
男性20代	64.7	52.9	41.2	17.6	41.2	17.6	23.5	35.3	17.6	17.6	35.3	11.8
男性30代	57.7	46.2	38.5	34.6	26.9	15.4	30.8	15.4	19.2	19.2	23.1	7.7
男性40代	40.0	50.0	25.0	35.0	15.0	15.0	10.0	15.0	20.0	25.0	0.0	5.0
男性50代	47.6	38.1	47.6	14.3	33.3	38.1	19.0	23.8	28.6	28.6	19.0	14.3

【グラフ12】プライベートにおいて手帳をうまく使いこなせていると思いますか？
(手帳<ノート型>もしくはシステム手帳使用者対象、単一回答 n=364)



5. 女性は仕事もプライベートも楽しみながら書きためる、手帳活用でワークライフバランスの充実

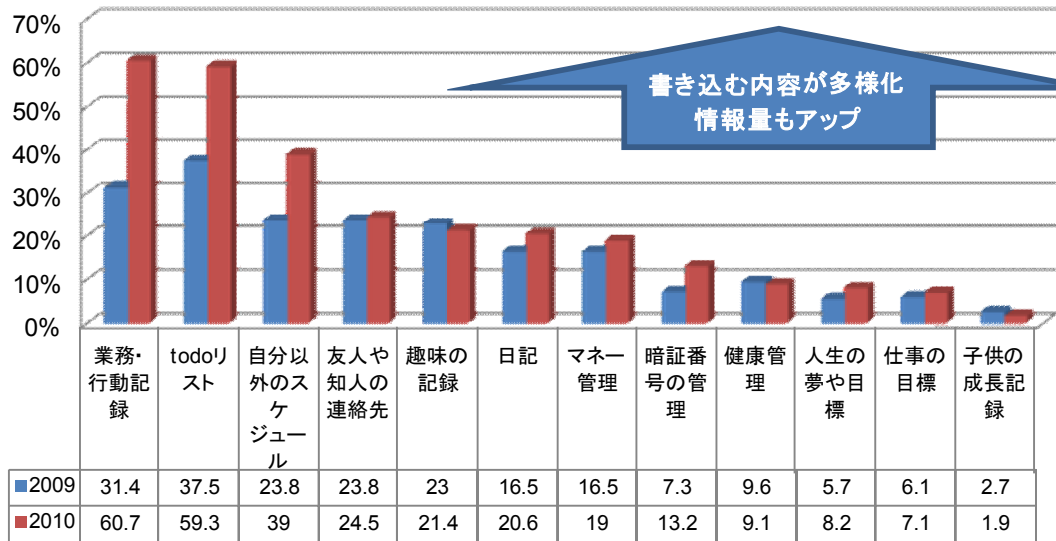
- ① 女性ユーザーに、「デジタルツールではなく手帳を使用する理由」について聞いたところ、1位は「予定を一覧しやすいから (68.5%)」であり、以下「自由に書くことができ、使い方に制限がないから (67.4%)」「外出先などでも手軽に利用できるから (42.7%)」と続いた。また、女性は男性に比べて「書きためることが楽しいから (30.3%)」「愛着がわくから (37.1%)」と言う回答を選んだ割合が高く、女性にとって、手帳が愛着をもって楽しみながら書きためていくツールであることがわかった【グラフ8】。
- ② 「プライベートにおいて、手帳をうまく使いこなせていますか？」という質問に対しては、8割近い女性ユーザーが、「とてもうまく使いこなせている」または「まあまあうまく使いこなせている」と回答しており、プライベートにおける手帳活用について男性ユーザーとの認識の違いが浮き彫りとなった【グラフ12】。また「スケジュール管理以外に手帳をどんな用途に活用していますか？」という問いに対して、女性は男性に比べて「趣味の記録 (29.9%)」「日記 (28.0%)」「マネー管理 (22.9%)」「健康管理 (13.6%)」などの回答割合が高く、多岐にわたる情報を手帳に書き込んで、積極的に活用している様子が明らかになった【グラフ9】。
- ③ また、女性は、「仕事において手帳をうまく使いこなせている」という意識も、男性同様に高い【グラフ10】。また、「手帳を活用することでどのような効用がありましたか？」という問いに対しても、「手帳を見返し仕事の振り返りができるようになった」という回答を選んだ割合が半数近い45.2%に及んだ【グラフ11】。こうした結果から、仕事にもプライベートにも積極的に手帳を活用し、書きためることを楽しんでいる女性ユーザーの姿が伺える。

6. 男女ともに手帳活用術がレベルアップ、共通の効用は「仕事の振り返りができるようになった」こと

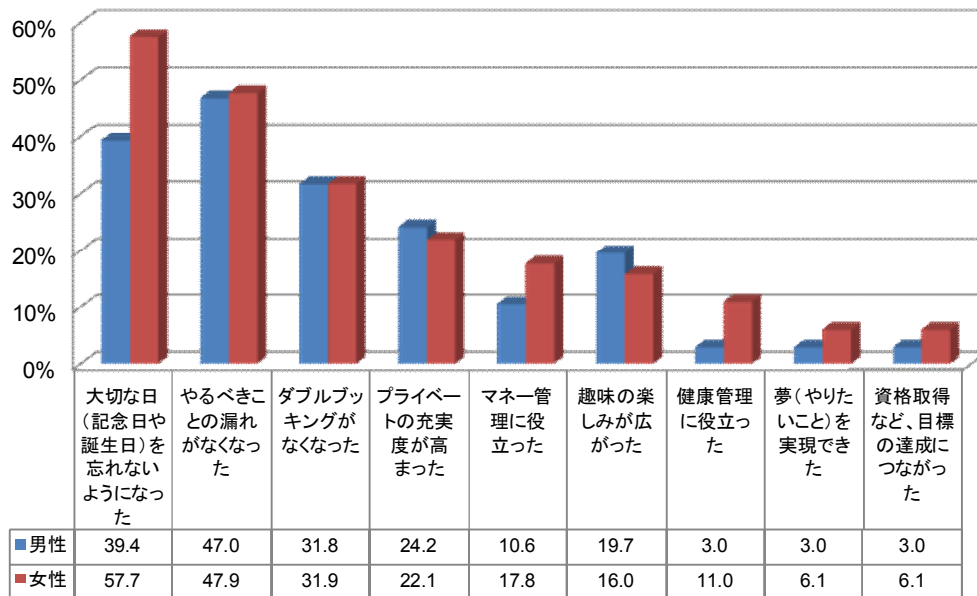
- ① 「スケジュール管理以外に手帳に書き込む内容」について、過去2年間の調査結果を振り返ると、手帳の用途が多様化するとともに書き込む内容も増えている【グラフ13】。また手帳活用の効用として、男女ともに共通^{※1}してトップに上がった回答は「仕事において振り返りができるようになった」であった【グラフ11】。様々な情報を手帳に書きためることが習慣化し、手帳活用の上級者が増えていることが伺える。

※1 男女差が大きく出たのはプライベートでの手帳の効用。男性の1位は「やるべきことの漏れがなくなった」女性の1位は「大切な日を忘れないようになった」となった。特に、40代は「大切な日」を効用として上げた男性は26.7%に対し、女性は64.1%と意識差が顕著に表れた。【グラフ14】

【グラフ13】スケジュール管理以外に手帳をどんな用途に活用していますか？
(手帳(ノート型)もしくはシステム手帳使用者対象、複数回答)

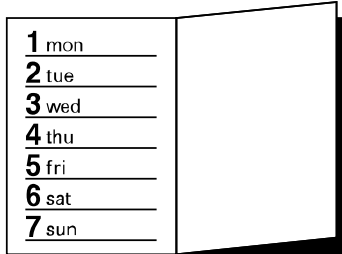
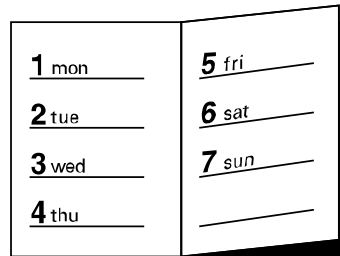
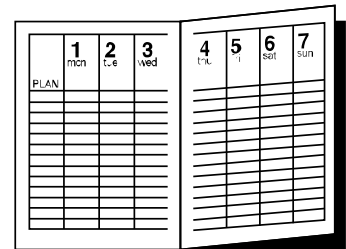
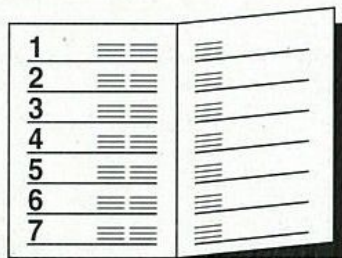
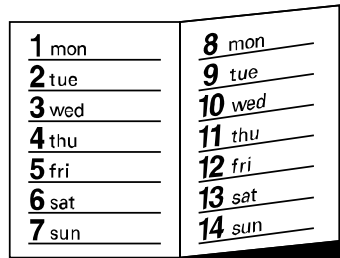
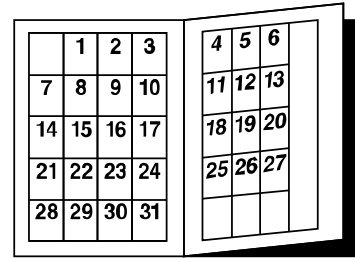
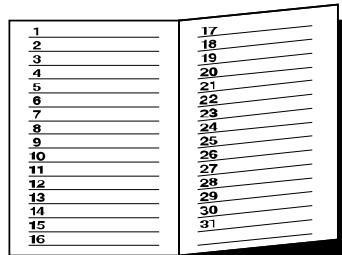


【グラフ14】プライベートにおいて手帳を活用することでどんな効用がありましたか？
(プライベートにおいて手帳をうまく使いこなしていると答えた回答者対象、複数回答 n=229)



【表3 詳細】男女世代別の回答割合一覧(%)

	大切な日(記念日や誕生日)を忘れないようになった	やるべきことの漏れがなくなった	ダブルブッキングがなくなった	プライベートの充実度が高まった	マネー管理に役立った	趣味の楽しみが広がった	健康管理に役立った	夢(やりたいこと)を実現できた	資格取得など、目標の達成につながった
女性20代	56.3	37.5	37.5	29.2	14.6	16.7	16.7	8.3	6.3
女性30代	56.1	46.3	24.4	19.5	24.4	7.3	9.8	2.4	2.4
女性40代	64.1	48.7	25.6	28.2	17.9	20.5	15.4	10.3	12.8
女性50代	54.3	62.9	40.0	8.6	14.3	20.0	0.0	2.9	2.9
男性20代	40.0	40.0	40.0	33.3	13.3	20.0	0.0	6.7	6.7
男性30代	37.5	50.0	43.8	12.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0
男性40代	26.7	46.7	40.0	33.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0
男性50代	50.0	50.0	10.0	20.0	15.0	30.0	5.0	5.0	5.0

【参考】
手帳のレイアウト一覧
■ 能率手帳タイプ

■ メモタイプ

■ バーチカルタイプ

■ ゾーンタイプ

■ 2週間タイプ

■ 月間ブロックタイプ

■ 月間メモタイプ

■ ジャバラタイプ
